

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

# 介護ロボット活用ミーティング

～ 介護ロボット等にかかわる最新情報と効果的な利用を考える ～

○日時 令和3年11月15日(月)～19日(金)13:00～13:10(10分)

○方法 録画映像

公益財団法人テクノエイド協会

# 主な内容

- 介護ロボット活用ミーティングの目的・背景
- 福祉用具・介護ロボットにかかる最新情報
- 効果的な利用を考える
- セッション2の進め方

# 活用ミーティング開催の背景・目的

少子高齢化の進行により、介護人材の不足が大きな課題となっております。

本年 7 月、厚生労働省が公表した介護職員の必要数では、令和5年度までに約22万人の人材が不足すると推計しており、総合的な介護人材確保対策の一環として、介護ロボット等の活用を掲げており、介護ロボットの導入支援や介護報酬による評価等を積極的に推進しているところであります。

こうした背景のもと、当協会では、この度、介護ロボット等(介護機器や福祉用具を含む。)の導入・活用に関する情報交換の場として、「[介護ロボット活用ミーティング\(※\)](#)」を開催することと致しました。

本ミーティングでは、介護ロボット等の導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を目的と致します。

参加を希望する方は、協会ホームページからお申込みください。

(※)新型コロナウイルス感染症を予防するため、オンライン開催とさせていただきます。



# 活用ミーティング開催のテーマ

11月				
15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)
テクノエイド協会・会議室からオンライン配信いたします。				
13時～15時				
開催テーマ				
介護老人福祉施設等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう①	介護老人福祉施設等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう②	グループホーム等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう	在宅高齢者の見守りに関する課題と介護機器・ICT機器等の活用を考えよう	コロナ禍における課題と介護機器・ICT機器等の活用を考えよう



# 主な内容

- 介護ロボット活用ミーティングの目的・背景
- 福祉用具・介護ロボットにかかる最新情報
- 効果的な利用を考える
- セッション2の進め方

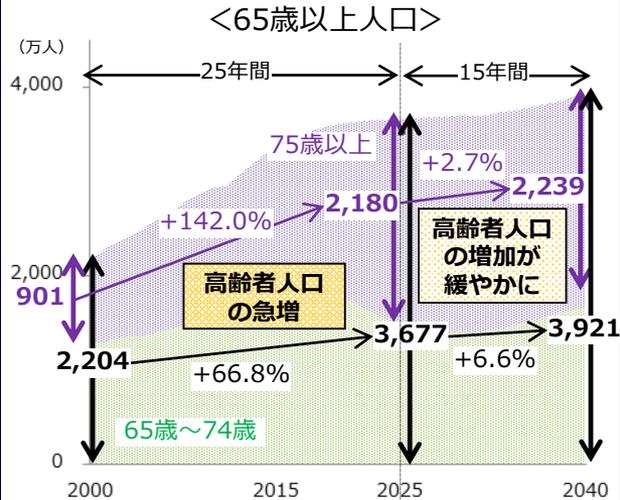
# 2040年頃を展望した社会保障改革の新たな局面と課題

平成30年4月12日経済財政諮問会議  
厚生労働大臣提出資料

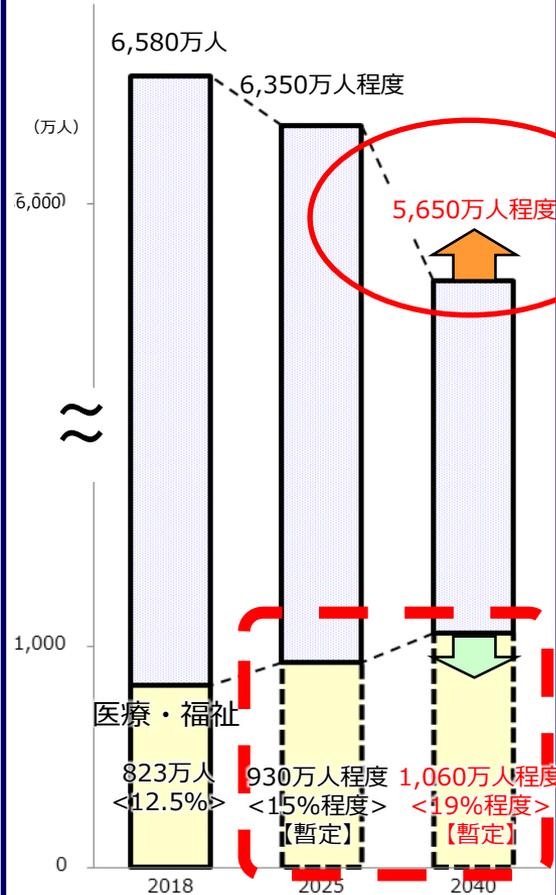
人口構造の推移を見ると、2025年以降、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化。

2025年以降の現役世代の人口の急減という新たな局面における課題への対応が必要。

## 《2040年までの人口構造の変化》



## 《就業者数の推移》



(資料) 就業者数について、2018年は内閣府「経済見通しと経済財政運営の基本的態度」、2025年以降は、独立行政法人労働政策研究・研修機構「平成27年 労働力需給の推計」の性・年齢別の就業率と国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口平成29年推計」(出生中位・死亡中位推計)を用いて機械的に算出。医療・福祉の就業者数は、医療・介護サービスの年齢別の利用状況(2025年)をもとに、人口構造の変化を加味して求めた将来の医療・介護サービスの需要から厚生労働省において推計(暫定値)。

国民的な議論の下、

- これまで進めてきた給付と負担の見直し等による社会保障の持続可能性の確保も図りつつ、
- 以下の新たな局面に対応した政策課題を踏まえて、総合的に改革を推進。

## 《新たな局面に対応した政策課題》

**1. 現役世代の人口が急減する中での社会の活力維持向上**  
⇒ 高齢者をはじめとして多様な就労・社会参加を促進し、社会全体の活力を維持していく基盤として、2040年までに3年以上健康寿命を延伸することを目指す。

**2. 労働力の制約が強まる中での医療・介護サービスの確保**  
⇒ **テクノロジーの活用等により、2040年時点において必要とされるサービスが適切に確保される水準の医療・介護サービスの生産性<sup>\*</sup>の向上を目指す。**

- ※ サービス産出に要するマンパワー投入量。
- ※ 医療分野：ICT、AI、ロボットの活用で業務代替が可能と考えられるものが5%程度(「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」結果から抽出)
- ※ 介護分野：特別養護老人ホームでは、平均では入所者2人に対し介護職員等が1人程度の配置となっているが、ICT等の活用により2.7人に対し1人程度の配置で運営を行っている施設あり。

# ○「成長戦略フォローアップ」(本文抜粋) (令和3年6月18日閣議決定)

## ii) データヘルス、健康・医療・介護の DX

### ② ICT、ロボット、AI 等の医療・介護現場での技術活用の促進

#### (ロボット・センサー等の開発・導入)

- ・ 介護分野における業務効率化に効果的なテクノロジーの普及に向けて、2020年8月に構築した介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームにおいて、試行実証施設でのケアの提供モデルを構築し、介護現場での実証を行うとともに、効果の確認が得られたモデルを全国に普及・促進する。
- ・ 地域医療介護総合確保基金を活用した介護ロボットや ICT の導入支援を進めるとともに、介護現場での大規模実証や介護ロボットの導入の効果実証等から得られたエビデンスデータを蓄積・分析し、次期からの介護報酬改定等での評価につなげる。あわせて、障害福祉分野における介護ロボットや ICT の導入についても、介護分野での状況を踏まえて取組を進める。

### ③ 医療・介護現場の組織改革等

介護職員の負担軽減を図り、質の高い介護サービスを提供するため、介護ロボットの普及・ICT化について、地域医療介護総合確保基金を活用した支援を行う。その際、介護現場の業務の効率化・生産性向上の取組と一体として推進すべく、「生産性向上ガイドライン」を活用し、介護現場への実効的な普及を図る。

- ・ 介護サービスの質の維持・向上の観点から、都道府県版「介護現場革新会議」の開催や 2019・2020 年度に実施したパイロット事業の横展開を進め、地域に応じた介護現場の業務効率化の取組を支援する。
- ・ 介護現場の働き方改革の観点から、多様な働き方を可能にする効率的な勤務管理機能の実装のため、介護施設における Wi-Fi 環境の整備や、介護現場へのタブレットの導入を強力に推進するとともに、2021年3月に取りまとめた効率的な勤務管理機能に係る項目の統合化・標準化の結論を踏まえて勤務管理機能の統合化・標準化を推進する。

# 令和3年度介護報酬改定に関する審議報告

(令和2年12月23日 社会保障審議会(介護給付費分科会)資料公表)(抜粋)

---

## III 今後の課題

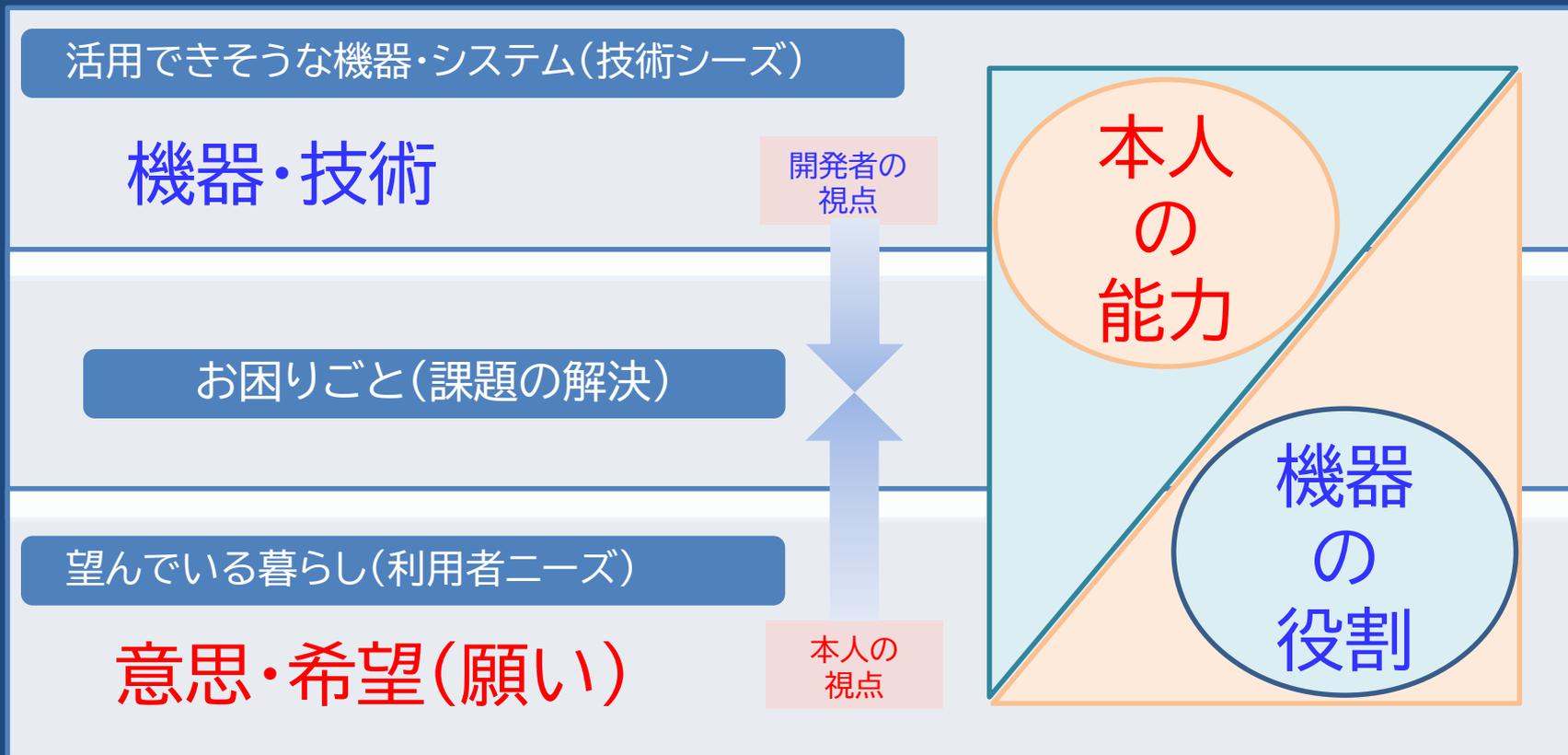
(テクノロジーの活用)

テクノロジーを活用した場合の人員基準の緩和等について、利用者の安全確保やケアの質、職員の負担、人材の有効活用の観点から、実際にケアの質や職員の負担にどのような影響があったのか等、施行後の状況を把握・検証するとともに、実証データの収集に努めながら、必要な対応や、介護サービスの質や職員の負担に配慮しつつ、更なる介護現場の生産性向上の方策について、検討していくべきである。

# 主な内容

- 介護ロボット活用ミーティングの目的・背景
- 福祉用具・介護ロボットにかかる最新情報
- 効果的な利用を考える
- セッション2の進め方

# 基本、介護ロボット等は高齢者が(に)利用するもの



福祉用具や介護ロボットは、利用が目的ではなく、目的を達成する一つ的手段  
一方、意識化・目的化することも求められる

- ・自己決定の尊重
- ・残存能力の維持・向上
- ・人生の継続 等

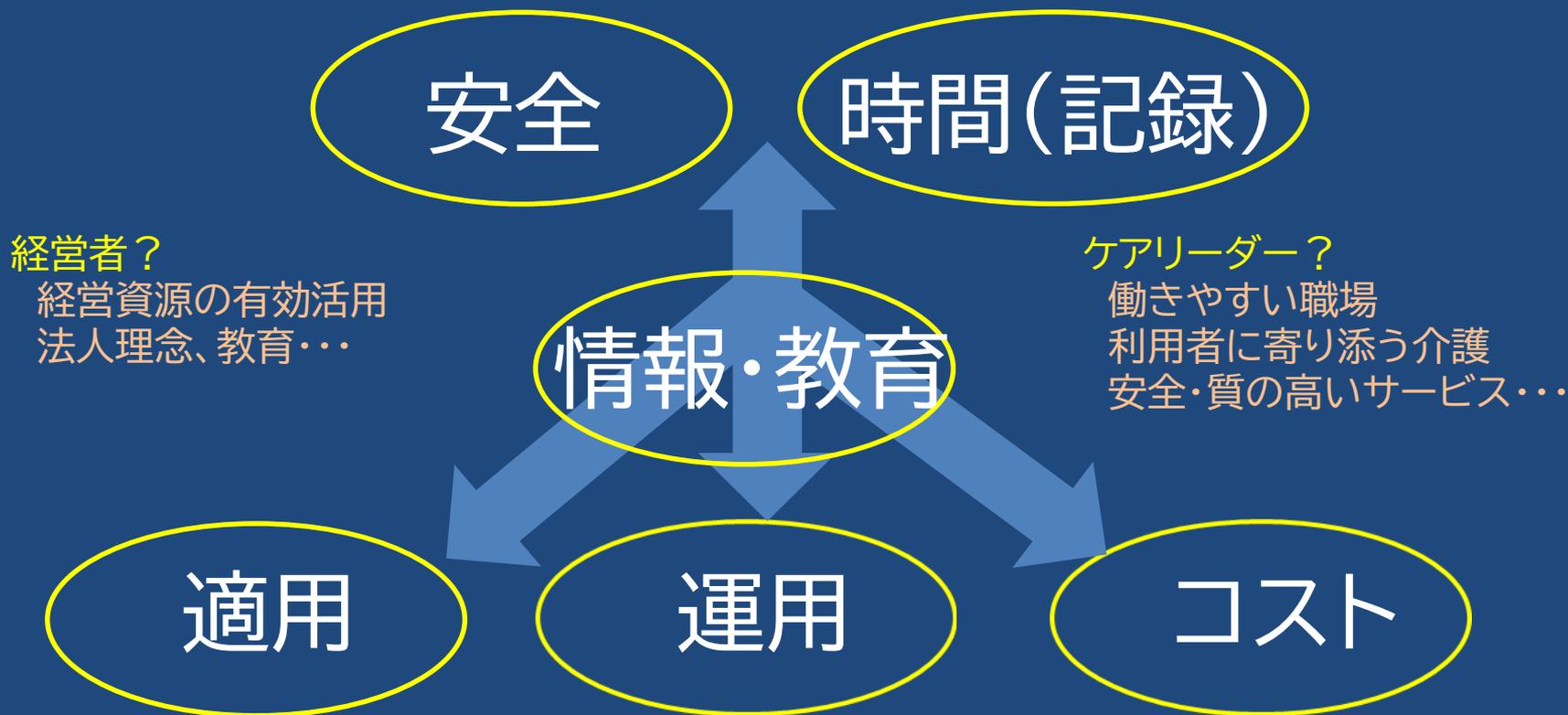
考慮し、開発と利用を検討する

# 例えば、居室からの移動



# 現状と課題の整理

介護現場の現状



利用者・介護者の安全性、尊厳の保持、プライバシーの保護  
介護支援計画への位置づけ、使用範囲やルールを明確化  
個別ケアの実現

# 介護ロボット等の導入による効果を考える

## 立場による異なる視点

- ①行政:福祉サービスの持続性、利用の目的化(補助や加算、基準化等)
- ②メーカー等:事業の拡大・成長、収益化
- ③施設等:資源の活用、サービスの質や生産性、自立支援 等

## 利活用の観点

どのような状態の利用者に、どの時点で、どのように使用すると、何に比べて、どのように改善するか評価を行うことを基本とする

- ◎利用者に与える影響・効果:メリットやデメリット、自主性、ADL、QOL
- ◎組織(スタッフを含む)に与える影響や効果:やりがい、意識、肉体的・精神的な負担軽減、雇用・労働環境の改善
- ◎機器の使いやすさ:可能になること、使いやすさ、信頼性、確実性、サポート力
- ◎コスト&ベネフィット:価格、設置費、ランニングコスト、教育費

# 主な内容

- 介護ロボット活用ミーティングの目的・背景
- 福祉用具・介護ロボットにかかる最新情報
- 効果的な利用を考える
- セッション2の進め方

## セッション2

- 利用者・介護者の安全
- ケアの質(維持・向上)
- 職員の負担軽減
- 生産性の向上

福祉用具・介護ロボットの活用



本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会



現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう  
介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫  
課題の共有化を目的に

